

令和元年6月（第2回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 鬼頭 博和 議員

1 小中学校の外国語教育の取組について

- (1) 現在の市内小中学校における外国語教育（授業時間数）の状況はどのようなようか。
- (2) 現在、外国語授業（活動）の時間数確保のためにどのような対応をしているか。
- (3) 外国語授業（活動）の授業時間の増加に伴い、担任の先生の負担が増加していないか。また、ALT（外国語指導助手）任用についてはどのような状況か。
- (4) 1校に一人を目標にALTのさらなる任用はできないか。

2 生活困窮世帯の学習支援の対象拡大について

- (1) 現在の生活困窮世帯における小中学校の児童・生徒を対象とした学習支援の状況はどのようなようか。
- (2) 2018年から学習支援の対象が、中学卒業後、進学や就労をしていない子どもや、高校中退者まで拡大されたが、本市の状況はどのようなようか。

3 高齢者の運転免許証自主返納に対する助成制度について

- (1) 本市における、高齢者の交通事故発生状況と事故件数の推移はどのようなようか。
- (2) 高齢者の運転免許証返納率の状況はどのようなようか。
- (3) 運転免許証を自主返納した際に、運転免許経歴証明書の交付手数料を助成できないか。

2 宮川 隆 議員

1 これからの『シティプロモーション』の進め方

- (1) そもそも、『シティプロモーション』を通じて何を目指すのか。
- (2) これまでの反省点は何があるのか。
- (3) これからの『シティプロモーション』の在り方・進め方をどのように考えておられるのか。

2 市内において『こども』の安全は保たれているのか

- (1) こどもを守るために何を心掛けているのか。
- (2) 事件・事故を少しでも減らすための取組は多岐にわたるが、盲点は無いのか。
- (3) 課題解決に向けた取組は進んでいるのか。

3 水野 忠三 議員

1 「スマートシティの実現に向けて」について問う

- (1) 「スマートシティ」という概念をどのように理解しているか。
- (2) 「スマートシティ」という概念を通じて、岩倉市の市政、行政サービス等にどのような「変革」が求められてくると想定されるか。
- (3) 「Society 5.0」(超スマート社会)等の未来社会についてのビジョンが提示されているが、それらの実現に向けての岩倉市の取組はどのようにになっているのか。
- (4) 市民が快適に移動することが可能な「スマートシティ」としての岩倉市の交通のあり方をどのように考えるか。
- (5) [(4)と関連して、] 例えば、現在行っている行政サービスの中で、将来、自動運転技術等を取り入れていく計画を立案する際に、支障となる点は何か。
- (6) 「スマートシティ」という概念を基に、水や緑と調和した都市空間の創造や自然との共生を岩倉市においてどのように図るか。
- (7) [(6)と関連して、] また、今までの(従来の)施策との異同をふまえた場合、行政として、取組が躊躇(ちゅうちょ)、懸念される点はあるか。
- (8) 災害に強いまちづくり、地域コミュニティの育成、市民の安全安心の確保のために、岩倉市はどのような「スマートシティ」を目指すべきか。
- (9) [(8)と関連して、] また、その実現のための施策等を立案する過程（プロセス）はどのようにするのか。
- (10) [(1)~(9)全体と関連して、] 以上述べてきたことを検討する際には、経済合理性の視点からのみではなく、実践的な倫理規範(倫理的基準)からの要請も重要と考えるが、「愛」「和」のある岩倉市を創っていく市長の所見を問う。

4 堀 巍 議員

1 通学路等の安全性について問う

- (1) 交差点への車止めポールの設置を求める。
- (2) スクールゾーン等による速度規制を求める。

2 高齢者の事故多発を受けた施策の展開について問う

- (1) 免許証返納者に対するサービスの充実を求める。
- (2) 新事業（タクシー補助）の今後のニーズの予測をどのように見ているか。

3 桜まつり時の駐車場確保のための民地利用の促進を

4 桜まつり以外の季節においても桜並木・五条川の活用を

- (1) LEDによる電飾を。
- (2) 夏は筏による親水を。

5 井上 真砂美 議員

- 1 名鉄石仏駅前整備事業について
 - ・石仏駅西改札スロープ
 - ・東改札・駅舎設置計画
 - ・名神高速道路下利用計画
 - (1) 石仏駅東改札、西改札、バリアフリー化等、設置計画青写真を教えてほしい。
 - (2) 石仏駅東西に、出入り口に鍵の付いたスロープがあるが鍵を外して使えるようになるのはいつ頃のことか。
 - (3) 名神高速道路下利用について、現在は通路・自転車置き場であるが、東改札駅舎設置を含めた計画はあるか。
- 2 岩倉市北部計画について
 - ・石仏公園付近（たり、角畠）整備
 - (1) 石仏町角畠・たりの田を埋め立てた周りをコンクリート化してポールで囲んでいるところが何か所かある。農地転用がどの様に利用されるのか教えてほしい。
 - (2) 石仏スポーツ広場と南側公園の現状と課題を教えていただきたい。
 - (3) 国道155号線と石仏公園への通行は、歩車道分離ブロックがあり限られているが今後の方向性を聞かせてほしい。

6 片岡 健一郎 議員

- 1 岩倉市から市民への情報提供サービスについて
 - (1) ほっと情報メールの現在の運用状況および利用状況はどうか。
 - (2) 課題として認識された点について。
 - (3) LINE公式アカウントでの情報提供について検討してはどうか。
- 2 統一地方選挙における岩倉市の投票率について
 - (1) 投票率向上に向け、どの様な対策を行ってきたか。
 - (2) その対策の結果はどうであったか。
 - (3) 臨時期日前投票所などの検討について。
 - (4) 教育の現場における投票に関する授業などの状況
 - (5) 特別授業として投票の意義、大切さを伝えてはどうか。
- 3 小中学校トイレの洋式化について
 - (1) 現在の小中学校トイレの洋式化、進捗状況について。
 - (2) 今後の洋式化の予定について。
 - (3) 災害時における避難所としての機能を考えたトイレ整備について。

7 須藤 智子 議員

1 糖尿病の重症化を防ごう

- (1) 生活習慣病の一つである糖尿病の疑いがある人は岩倉市でどれくらいいるのか。
- (2) 糖尿病性腎症が原因で人工透析の治療が必要になった人はどれくらいいるのか。
- (3) 糖尿病の重症化予防のためにどのような取組を行っているのか。

2 歯周病と全身の病気との関連性について

- (1) 糖尿病との関連性は。
- (2) 脳梗塞・心筋梗塞との関連性は。
- (3) 誤えん性肺炎との関連性は。
- (4) 認知症との関連性は。

3 高齢者ごみ出し支援の現状と課題について

- (1) 高齢者のごみ出しをめぐる課題は。
- (2) 自治体によるごみ出し支援の取組について。
 - ① ごみ出し支援制度とは。
 - ② 各自治体の取組状況は。
 - ③ 支援制度の利用要件は。
 - ④ 見守り・安否確認について。

8 伊藤 隆信 議員

1 魅力あるまちづくりについて

- (1) 歴史という観点から。
 - ① 岩倉の遺跡・史跡について。
 - ② 山車の歴史的価値について。
 - ③ 岩倉城の実情について。
 - ④ 織田信長、山内一豊の岩倉の接点について。
 - ⑤ 2.26事件の渡辺錠太郎について。
 - ⑥若い人に岩倉の歴史に興味を持ってもらう対策について。
- (2) 文化という観点から。
 - ① 岩倉の文化的資源について。
 - ② スポーツ文化について。
 - ③ 音楽のあるまちづくりについて。
 - ④ 文化的な取組のPRについて。
- (3) 交通の利便性の観点から。
 - ① 石仏駅のバリアフリー化と周辺のまちづくりについて。
 - ② 岩倉駅東の道路整備とまちづくりについて。
 - ③ 大山寺駅南踏切拡幅と西春駅と徳重・名古屋芸大駅の鉄道高架について。

9 黒川 武 議員

- 1 「地域とともにある学校づくり」の実現のために
 - (1) 学校と地域の連携・協働は進んでいるのか。
 - ① 学校評議員制度の現状はどうか。
 - ② 学校評議員制度の課題・問題について問う。
 - (2) コミュニティ・スクールへの転換の検討が必要ではないか。
 - ① 教育振興基本計画策定に当たってのアンケート調査から見えてくるものは何か。
 - ② コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入状況について問う。
 - ③ コミュニティ・スクール導入について、国からの働きかけはあるのか。
 - ④ 愛知県の対応はどうか。
 - ⑤ 一宮市及び北名古屋市のコミュニティ・スクールをどのように評価しているのか。
 - ⑥ 各小中学校の校長の考え方はどうであるのか。
 - ⑦ モデル校を指定して、コミュニティ・スクールを推進してはどうか。
 - ⑧ 地域学校協働活動の取組について問う。
 - ⑨ 教育振興基本計画を見直して、学校評議員制度からコミュニティ・スクールへの転換を進めてはどうか。教育長の見解を求める。

10 大野 慎治 議員

- 1 五条川健幸ロードについて問う
 - (1) 五条川法肩の雑草処理について問う。
 - (2) 木製ベンチを改修するべきではないか。
- 2 自転車利用者による交通事故発生件数について問う
 - (1) 現状について問う。
 - (2) 事故発生件数抑制対策について問う。
- 3 交通事故に対しての安全対策を問う
 - (1) 園児の散歩道、小中学生の通学路等の安全点検・安全対策について問う。
- 4 市有地の活用について問う
 - (1) 現状について問う。
 - (2) 遊休市有地に花などを植えて活用してはどうか。
- 5 投票率について問う

(1) 投票率向上に向けて。

11 木村 冬樹 議員

1 統一地方選挙の教訓を参議院選挙に活かそう

(1) 低い投票率をどうしたら改善できるのか。

(2) 選挙管理委員会の体制は十分か。

2 無料低額診療事業を広げよう

(1) 近隣市町ではどのような無料低額診療事業があるのか。

(2) 市民周知と事業の拡充を求める。

3 愛知県の施設の管理が不十分ではないか

(1) 県道・河川の草刈りが不十分ではないか。

(2) 信号の設置や切替り時間の変更はどのように行われるのか。

4 人権・福祉としての住まいを考える

(1) 市営住宅の廃止にどう対応していくのか。

(2) 空き家問題をまちづくりの視点で考える。

12 谷平 敬子 議員

1 高齢者の難聴の対応について

(1) 障害者総合支援法の中の補装具費支給制度について。

(2) 岩倉市において健康診断の中に聴力検査項目はあるのか。

(3) 補聴器の必要性についてどのような啓発を行っているか。

(4) 軽度、中度の難聴者に対する補聴器購入費の助成を求む。

2 自転車の安全運転促進について

(1) 岩倉市においても自転車保険加入を義務付ける必要があると思うがどうか。

(2) 岩倉市において交通安全教室の実施状況は。

(3) 高齢者に自転車の正しい交通ルールを学ぶ場を求む。

13 樋谷 規子 議員

1 転換期の保育制度を考える

(1) 保育の「無償化」に伴う問題点をどう考えるか。

① 財源が消費税であること。

② 給食費の実費負担

- ③ 認可外施設も「無償化」の対象～保育の安全・質の確保の保障のためにするべきこと。
- (2) 公共施設再配置計画における保育園の統廃合は見直すべき。
- 2 都市公園、ひろば、児童遊園など、どのように活用していくのか
 - (1) 利用する若者と近隣住民とのトラブルをどう解消していくのか。
- 3 活き活きとした高齢期の保障を
 - (1) 高齢者（特に一人暮らし）の居場所づくり～サロンの拡充を。
 - (2) 給食センター跡地の活用を。